一般社団法人日本実業団陸上競技連合

新型コロナウイルス感染症への対応策

【はじめに】

新型コロナウイルス感染症「第8波」の収束が十分に見通せていないなか、今大会が開催されます。政府は、感染症法の分類で新型コロナウイルス感染症を「5類」に変更する方針を表明しましたが、「5類」になっても感染症そのものがなくなるわけではなく、イベント開催には引き続き、慎重に対応していく必要があります。感染症対応策へのご理解とご協力、よろしくお願いいたします。

- ■出場競技者、監督・コーチ・スタッフ等のチーム関係者、報道機関、出場チームの広報担当者、大会役員など、競技エリアにアクセスする方たちは、スマートフォンの「テレサー体温記録活用アプリー」で体調管理にあたってください。「テレサ」の利用方法は、別紙「テレサによる体調管理について」をご覧ください。可能な限り、「テレサ」をご利用ください。なんらかの事情で「テレサ」に対応できない場合は、紙の体調管理チェックシートでも受け付けます。
- ■大会1週間前の2月5日(日)からチェックし、 大会終了後2週間の2月26日(日)まで健康観察を継続。

■競技運営上のコロナ対策については、

山口陸協の別紙「新型コロナウイルス感染症対策について」の指示に従うこと。

■ガイドラインにおける「大会関係者」とは、以下に挙げる、大会にかかわるすべての方たちを対象とします。

競技者、監督・コーチ・スタッフなどチーム関係者▽出場チーム企業・クラブ関係者▽競技役員・自主整理員・補助員、大会役員・スタッフ▽競技場運営者▽来 賓▽協賛社・サプライヤー各社▽中継放送局(TBS テレビ)スタッフ▽取材メ ディア(報道機関)▽出場チーム企業・クラブ広報関係者▽スポーツメーカー各 社▽視察目的で来場する他の大会の運営者や合宿地の自治体・団体等

本ガイドライン策定にあたっては、下記の各ガイドライン、ガイダンスなどを 参照しました。

■スポーツ庁「スポーツ関係の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン について」(令和4年12月28日更新)

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/detail/jsa_0002

1.html

■日本スポーツ協会「スポーツイベントの開催に向けた感染拡大予防ガイドライン」(令和4年12月26日改訂)

https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid1278.html

■日本陸上競技連盟「ロードレース開催についてのガイダンス | 第4版改訂(22

年 10 月 17 日付)

https://www.jaaf.or.jp/news/article/15766/

■開催地・山口県の新型コロナウイルス感染症関連情報

https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/11473.html

- *開催地の山口陸上競技協会の役員・審判員の皆さんは、陸協が定めたマニュアルに則ってください。
- *大会前及び大会を終えて帰還した後に発熱等があった場合は、各人が居住、あるいは練習・活動拠点とする地域を所管する保健所にご相談ください。

【ガイドライン本文】

■ 1 ■大会開催の可否判断

*新型コロナウイルスの今後の感染状況に応じ、開催地の山口県による「イベント自粛要請」など、行政当局からの指導に対応し、開催が困難と判断された場合は、大会を中止とします。その場合は当連合ホームページ(HP)にてお知らせいたします。

■ 2 ■大会への参加

*各所属先企業、クラブの判断を順守してください。所属先が都道府県をまたいでの遠征禁止や全国規模の大規模大会への参加を禁止した場合は、その旨を記載した欠場届を提出してください。

- *各所属先企業、あるいは居住地の都道府県から、強制力の伴わない、都道府県をまたいでの外出自粛要請が出た場合は、各自の判断で、責任をもって参加の可否を判断してください。
- *大会にエントリーしている同一チーム所属の競技者・監督・現場指導コーチ等に新型コロナウイルスの陽性が確認された場合、他のメンバーで PCR 検査、抗原検査で陰性が 2 日連続で確認できた場合、チームの判断で、大会に出場、あるいは来場できます。

■ 3 ■来場者の総数を規制します

- *各施設への出入口を限定し、密集・密接の回避に努めます。「37・5度以上」 の発熱がある方は、来場を控えてください。
- *競技関連施設等に入場できるのは、主催者が AD (ID) カード、リストバンド、 ビブスのいずれかを付与した方たちに限られます。AD (ID) カードの種別に よって入場可能エリアが分かれますので、ご注意ください。

■ 4 ■出場競技者への I Dカード交付、監督・コーチへのリストバンド付与

- *出場競技者には「選手」IDカードを交付します。
- *大会前日の2月11日(土)12時~15時、ホテルニュータナカ(山口市湯田温泉2-6-24)での競技者受付時、アプリ「テレサ」で体調管理状況を確認。 大会当日の2月12日(日)は、8時~9時の間に、競技場正面玄関前の実業

団受付で「テレサ」確認。

- *2月12日の大会当日に初めて競技者受付を行う場合は、8時~9時の間に、 競技場正面玄関前の実業団受付で「テレサ」確認。
- *大会当日、体調管理の一トの最終確認で問題がないと確認された競技者に「検 温確認済みシール」をお渡しします。AD(ID)カード表面の文字が隠れな い個所に貼付してください。
- *「監督・コーチ」は大会当日の2月12日8時~9時、競技場正面玄関前の「テレサ」のチェックで、体温等に問題がなければ、リストバンドを交付。監督・コーチ等のチーム関係者は競技場のグラウンドレベルには入れません。正面東の大階段からスタンドに上がってください。

公認コーチ更新研修の「午前の部」受講者には、ビブスを交付します。「午前の部」終了後すみやかに実業団事務局に返却してください。万一持ち帰った場合は、日本実業団陸上競技連合事務局あて返却願います。

■□■□■体調管理について■□■□■

※大会関係者すべてが対象となります

- *「テレサ」利用者は別紙「テレサによる体調管理について」をご覧ください。
- *紙のチェックシート(Excelファイル)は大会HPに掲載。
- ※大会1週間前からチェックした結果をテレサ、または、シートに記入。今大会の対象期間は2月5日(日)~2月12日(日)。

- *競技者。チーム関係者以外のカテゴリーの方たち
- ①競技役員=山口陸上競技協会でとりまとめます。
- ②道路立哨員=前日説明会に出席する方たちは、体調管理チェックシートを提出して受付し、リストバンドを受け取ってください。当日は、各自、体調管理チェックシートで体調を管理し、立哨位置についてください。
- ③取材メディア(報道機関)=報道受付
- ④来賓・チーム広報担当者・その他来場者=実業団受付

※AD(ID)カードの使い回しは厳禁※

*大会前の3日間のいずれか、また、大会当日に、体温「37・5度」以上の発熱、倦怠感や味覚・嗅覚障害などの新型コロナウイルス感染症特有の症状がみられた場合は、大会への参加をお断りします。はっきりした症状はないものの疑わしいとみられる場合も、無症状感染の疑いを排除しきれないため参加を控えてください。

※大会関係者から感染者が確認された場合、担当保健所や行政機関からの求め に応じ、個人情報に最大限の配慮をしたうえで、当該機関に情報を開示すること があります。

※上記の事例以外では、用紙で提出いただいた体調管理チェックシートは、主催者の日本実業団陸上競技連合が1か月間管理し、1か月経過後、シュレッダーで 裁断処理します。

■ 大会後 ■

*大会終了後2週間(2/26旧まで)、「テレサ」または体調管理チェックシートで健康観察を継続してください。データは各自で管理し、異常がなかった場合は、提出の必要はありません。

※大会終了後3日以内(2/15水まで)に、陽性が確認された場合は、日本実業団陸上競技連合に報告してください。当連合では個人情報の取り扱いに最大限配慮し、担当保健所、行政機関の指導のもと、濃厚接触の可能性がある方たちがいた場合、その旨を該当者に伝え、さらなる感染拡大の抑止に努めます。

■ 5 ■大会を迎える前に

*日々の練習、日常生活における感染予防に努めてください。

オミクロン株が主流となって以降、無症状または症状が軽くてすむ、と指摘される一方、若い人たちの間でも後遺症の深刻さを伝える声もあります。

「5類」への見直しが検討されているとはいえ、油断や過信は禁物です。

ロードレースシーズンも後半に入り、連戦の疲労が蓄積されるようになるころです。疲労は免疫力を低下させるため、十分な休息や睡眠、栄養バランスの取れた食事等で体調管理に努めてください。過度のストレスも免疫力の低下を招きますので、ストレス解消に各人の工夫をお願いします。

*「3密」の回避やマスク着用、手洗い・手指消毒の励行、社会的距離(ソーシャルディスタンス)の確保、大人数での会食や、生活環境・社会活動域を異に

する他コミュニティーとの会食を控えるなど、感染予防に引き続き努めてく ださい。屋内では換気には十分気をつけてください。

*事前のコース下見や試走を行う際は、コース沿道の皆さまに不安感や不信感をいだかれるような行為は厳に慎んでください。車で移動する際は、交通法規を守り、駐停車のマナーを守ってください。下見・試走の時点でマナー違反行為があると、大会の開催そのものの是非が地域の方々から問われます。くれぐれもご注意ください。

■ 6 ■大会会場への往路・復路の移動中

- *公共交通機関を利用する場合は、「3密の回避」やマスク着用、手洗い・手指 消毒の励行など、感染予防に努めてください。また、同行者との大声での談笑 を慎むなど、周囲の人たちへの配慮をお願いいたします。
- *車で来場する場合も、車内の換気や、適切な距離の確保など、感染リスクの低減に努めてください。

■ 7 ■大会前の練習の取り扱い

*維新みらいふスタジアム(維新百年記念公園陸上競技場)を事前練習で利用 する場合は以下のことにご留意願います。

練習で利用できるのは、2月10日(金)12時~18時

11日(土)10時~18時

*競技場の練習利用に際しては、競技場正面玄関前のTICで受付、リストバンドを受け取って装着して入場してください。受付の際、テレサ、または体調管理チェックシートを確認します。紙シートの場合、控えを用意せず、練習に先立って競技者受付で原本を提出してしまうと、練習受付の際に必要なシートがなくなってしまいます。また、逆に、練習後に競技者受付する場合、練習受付で原本を提出してしまうと、競技者受付の際にシートがなくなります。ご注意願います。

■ 8 ■関連施設等を使用する場合の一般的注意事項

- *周囲に人が集まる場所では、マスク着用であっても大声を上げるのは控えてください。
- *ごみは各自持ち帰ってください。

■ 9 ■スタート時の競技者の招集

*招集時、入退場時とも「3密」を避けるため、現地では競技役員の指示に従ってください。

■ 10 ■更衣室

*「3密」を避けるため、適切な使用方法への協力をお願いします。短時間での利用、付き添い者も極力入室しないか短時間の入室ですませるなど、工夫して

ください。

■ 11 ■チーム関係者による沿道での声がけ

*監督・コーチ・スタッフなどのチーム関係者が沿道から競技者に声をかける場合は、マスクを着用し、周囲に人が密集していないことを確認するなど、他者との適切な距離を確保するとともに、同一チーム内であっても各人の社会的距離(ソーシャルディスタンス)の確保に努めてください。乾燥・低温の冬場は、飛沫が微粒子となって、より遠くまで漂って起きる「飛沫感染」が起きやすいと指摘されています。それだけに、周囲に細心の配慮をしながら、飛沫を防ぐ工夫には万全を期してください。

■ 12 ■表 彰

- *「3密」防止の観点から、引き続き簡素化して、実施します。大会本部の指示に従ってください。プレゼンター側はマスクを着用します。テレビ・写真撮影への対応の際は、競技者・監督はマスクの着用は不要ですが、セレモニー終了後はすみやかにマスクを着用してください。贈呈側も出席者を最小人数に絞り込み、表彰状の読み上げやあいさつ等を可能な限り省略して簡素化に努めます。
 - *表彰式会場は、「3密」防止の観点から、入場者をAD(ID)カードコン

トロールで制限します。写真・動画撮影などの取材は、所定の位置からとなります。大会スタッフの指示に従ってください。

■ 13 ■記録表の取り扱い

*「3密」を回避するため、山口陸上競技協会、並びに当連合 HP の速報コーナーで発表しますので、こちらをご利用ください。

■ 14 ■報道機関によるスポーツ報道目的取材

- *「3密」防止のため、取材者の総数、及び各社の来場者に上限を設けるとともに、すべて事前申請とします。ただし、ライツホルダーである毎日新聞社、TBSテレビの人数は別枠として取り扱います。
- *報道プレス室の利用時、撮影時、取材時は「3密」を避けるため、競技役員の 指示に従ってください。また、各人で話し合って適切な距離を置くなど「3密」 回避への工夫をお願いします。
- *会場内ではマスクを着用し、こまめな手洗い、手指消毒をお願いします。
- *競技終了後の取材は、選手・監督・コーチなど取材対象者との間に適切な距離 を保ち、マスク着用のうえ、短時間の簡潔な取材を心がけてください。

■ 15 ■出場チーム企業・クラブの広報担当者(1社2名以内)

*競技場内グラウンドレベルのスタート・フィニッシュ地点は、「3密|防止の

観点から、報道機関のみに取材を許可しています。出場チーム広報担当の皆さんは、受付時交付の撮影用ビブスを着用のうえ、スタンド、もしくは沿道からの撮影となります。ビブスは必ず実業団事務局に返却してください。万一持ち帰った場合は、日本実業団陸上競技連合事務局に返却してください。

- *沿道では、地域の方々に不安感、不信感をいだかせるような行為は慎んでください。苦情が寄せられた場合、事情を確認のうえ、マナー違反が認められた場合、今後の当連合主催大会での取材申請を受け付けない場合があります。
- *車で移動する場合、駐停車も含め交通法規を厳守してください。タクシーをチャーターする場合は、運転手の方の検温など体調管理に各自責任をもって対応してください。タクシー利用者が大会終了後、発熱などの症状があった場合は、誠意をもってタクシー会社への説明をお願いいたします。

■ 16 ■沿道での応援・観戦について自粛は求めません

*沿道ではソーシャルディスタンスの確保に努めてください。周囲に人が集まっている状況では、マスク着用をお願いいたします。

■ 17 ■競技場スタンドでの一般応援者について

*一般応援者は、バックスタンド裏階段下で、検温チェックを受け、応援申込書 (連絡先表)に記載して、入場してください。応援は、バックスタンド及びサイ ドスタンドからのみとなります。飛沫防止のため、マスクを着用してください。